

## 令和2年度 氷見市教育総合センターだより 第2報



## 「がんばろう氷見の子どもたち」

子どもたちへのメッセージと家庭学習支援動画の配信



## 子どもたちに向けたメッセージの発信

コロナウイルスの影響で長期間にわたる学校休業が余儀なくされました。新年度が始まっても学校再開のめどが立たない状況下で、氷見市の小・中学校、義務教育学校の先生方が、自宅で学習する児童生徒に向け、会える日を心待ちにしているというメッセージを伝えることができました。

小・中学校、義務教育学校 14 校に能越ケーブルネットの取材班が訪れ、動画の撮影が始まりました。そしてメッセージ番組として編集を行い、放送に至ったのです。篠田副市長さんのプロデュースもあり、小学校編、中学校編とも各校の個性を生かした素晴らしいメッセージ番組となりました。児童生徒や保護者は大変勇気付けられたことでしょうか。地域の方々にも、先生方の意気込みが伝わったのではないかと思います。計画を立て、実際に撮影に協力してくださった先生方、本当にありがとうございました。

## 家庭学習支援動画の配信

ゴールデンウィーク後も緊急事態宣言が解除されず、さらに休校が長引く中、氷見市では、学習支援動画を配信し、家庭学習の支援を行うことにしました。中教研と小教研の協力を得て、下記のとおり制作し、配信することができました。再生回数を調べてみますと、全学年の児童生徒数を超えており、多くの方が関心をもって視聴したことがうかがえました。

動画公開日	対象	内容	本数
5月7日	中3	国語・社会・数学・理科・英語	各教科3本
5月11日	小1～6	国語・算数	各学年2本
5月18日	中1	国語・社会・数学・理科・英語	各教科3本
5月18日	中2	国語・社会・数学・理科・英語	各教科3本
5月18日	小1～6	国語・算数	各学年2本

学校が再開された今、授業の冒頭で支援動画を活用するなどの情報もいただいています。今後の状況によって追加の配信も考えられますが、今回制作した動画は教育総合センターのライブラリーとして保存していくこととし、今後有効に活用したいと思います。

ある学校で、「若手の先生方の教材研究の機会になった」、「新採の先生の参考になった」など、今回の動画制作の成果を話してくださる先生もおられました。動画制作が校内研修として扱われる内容になってくることも考えられます。全国では、オンライン授業を行う学校も見られ、同時双方向でやり取りできるネット環境整備が進めば、学校から児童生徒に向けてオンライン授業をする必要性も出てくるでしょう。



教育総合センターでは、ふるさと学習に役立つコンテンツを募集したいと考えています。ふるさと学習を進める中で活用した動画や画像、ふるさと学習に取り組んだ学校の記録等をお知らせください。今年度は、動植物についての記録（特にイタセンパラ、オニバス、トンボ、ホタル、海浜植物等）の収集に力を入れます。動画を生かした学習はこれから必要不可欠になってくると思います。教育総合センターのライブラリーとして、素晴らしい教材を蓄積していきたいと考えています。ご協力をお願いします。

## 調査研究事業「外国語教育推進委員会」

昨年度は、ふるさと教材「We Love HIMI!」の配布や、「外国語教育推進リーフレット」と「外国語教育ひみプラン指導事例集」の配布を通して、「外国語教育ひみプラン」の普及を図りました。平成 29 年度から始めた小学校教員実技研修会を含め、教員の指導力向上を目指した取組を 3 年間実施してきました。

今年度からは、児童生徒の英語力向上を目指した取組を中心に行います。

- 1 「ENGLISH セミナー」の開催
  - ・実施日 12月25日（夏の開催予定を冬に変更）
  - ・対象 小学6年生、中学2年生 40～50名程度
  - ・内容 ゲーム、クイズ、校区紹介 等
- 2 授業公開
- 3 「外国語教育ひみプラン指導事例集Ⅱ」の作成・配布



新型コロナウイルス感染拡大予防のため、対面での対話活動やグループ活動ができない状況で、外国語における「話す活動」の実施が困難になっています。しかし、市内各校から、フェイスシールドの着用、教師対児童生徒での「やり取り」の工夫、電子黒板やALTの活用、「聞くこと」と「書くこと」の活動の充実等、実施における工夫が聞こえてきます。このような実践例も、指導事例集に取り入れていきたいと考えています。

## 調査研究事業「ICT教育推進委員会」

昨年度は、ICT活用の推進やプログラミング教育の調査・研究に取り組みました。ICT活用の推進については、授業づくり研修会の開催、ICT活用事例収集・事例集の発行を行いました。また、プログラミング教育については、出前研修の開催、モデルカリキュラムの作成・配布を行い、取組をまとめたICT活用推進リーフレットを作成して全教職員に配布しました。

今年度は、各校のICT教育推進委員が中心となったICT活用のための校内研修等の充実に重点に活動します。

### 今年度の目標

- 小学校
  - ・Viscuit と Scratch の基本操作に慣れる。（児童に指導できるように）
  - ・「令和2年度情報活用能力（プログラミング教育を含む）の育成に係る基本カリキュラム～総合的な学習の時間等を活用したカリキュラム～」(モデルカリキュラム) を実践する。
- 中学校
  - ・すべての教員が、電子黒板とタブレットPCを使った授業ができるようにする。

### 1 ICT活用推進の目標設定（各学校）

各学校の実態を踏まえて、今年度の目標と達成のための方法を設定しました。今後、推進委員が中心となり、校内研修や環境整備等を進めていきます。

### 2 ICTを活用した授業づくり研修会の開催（協力校）

協力校で研究授業、研究協議等を行う予定です。センターからご案内しますので、推進委員以外の方々も、ぜひご参加ください。



## 今年度の小中連携教育 ～9年間の学びをつなぐ・支援をつなぐ～

これまで「9年間の学びをつなぐ・支援をつなぐ」を基本理念とし、系統的、継続的に取り組んできた成果として、各中学校区では次のような取組が定着しているようです。

- 9年間を見通した学習習慣や生活習慣の在り方の確立
  - ・児童生徒の実態の情報交換、各校の方針の共通理解、「学習指導・生徒指導上の連携表」の見直し
  - ・小中連携挨拶運動の実施
- 全教職員が長いスパンで連携する小中乗り入れ授業
  - ・音楽科、体育科、外国語科・外国語活動等において
- 相互授業参観や協議会への参加を通じた授業改善、指導力向上への取組
- 中1ギャップを軽減し中学校生活への意欲を高める入学説明会での授業参観、授業体験

上記以外にも各校区の実情をふまえた様々な取組が計画されています。学校は再開しましたが、新型コロナウイルス感染拡大のリスクを低減させながらの教育活動に配慮をお願いします。



改訂版「ふるさと氷見」を積極的にご活用ください。

### 各校区の実情をふまえて計画されている内容

	今年度の重点事項	組織・計画	学習指導	生徒指導
南部中学校区	◇連携による豊かな心の育成と基本的生活習慣の確立 ◇「学びの連続」による学力向上	○校区3校校長会 ○校区3校教頭会 ○3部会推進委員会 ・学習指導部会 ・生徒指導部会 ・家庭・地域連携部会 ○部会協議会	○ICTの活用方法についての研修 ○学習公開日（校区小中3校同日開催）の授業参観 ○兼務授業（朝日丘小）	○ゼロメディア運動（PTAと連携） ○小中連携ハートフル標語の募集 ○学校祭への小学生招待 ○ハートフルだよりの発行
北部中学校区	◇9年間の学びを繋ぐ・支援を繋ぐ	○小中連携会議（教頭、毎月25日頃開催）	○「学習の手引き」の配布と説明（中学校教頭等が6年生に中学校の学習について説明） ○春休みに取り組む共通課題を6年生へ配布し、入学後に点検	○「中1ギャップ」解消のための小学校教諭による授業参観と懇談会 ○家庭学習週間 ○小中連携清掃活動 ○小中合同講演会 ○不登校等の児童についての個別連絡会
十三中学校区	◇密な情報交換と研修による教職員の指導力の向上 ◇家庭・地域と連携した系統的、継続的な取組による児童生徒の健全育成	○小中連携推進委員会（校長、教頭、教務主任） ○学習指導部会 ○生徒指導部会	○家庭学習での連携（家庭学習時間の確保） ○小中合同研修会（夏季休業中）	○ネットルールの取組（十三校区ネットルール作成、アウトメディア週間） ○きずなの森整備活動 ○学校祭への小学生招待
西條中学校区	◇思いやりの心の育成	○推進委員会（教頭） ○連携実務者会議（教務主任）	○中学校教頭による乗り入れ指導（中学校生活への心構えについて） ○合同研修会 ・つまずきの分析と学習指導 ・スマホ所持率、ネットトラブル	○家庭学習週間 ○スマホ、ネットルールの策定と周知 ○学校祭への小学生招待 ○カウンセリング指導員と小6担当教員との情報交換
西の杜学園	◇自分の考えをもち、進んで学ぶ児童生徒の育成 ◇相手を思いやり、よりよく人と関わる児童生徒の育成	○学力向上部会 ○豊かな心部会（全教員参加）	○9年間の連続した、個に応じた指導・支援 ○「西の杜学習スタンダード」を生かした授業研究 ○1～4年生は一部教科、5～9年生は全教科で教科担任制 ○いのちの教育講演会（5～9年生） ○ひみプランを活用した外国語活動 ○地域の特色を生かしたふるさと学習	○「西の杜学習スタンダード」の推進（確かな学力と望ましい学習習慣の定着） ○アウトメディア運動 ○5～7年生での宿泊学習 ○地区児童生徒会

## 研修会・イベント実施の変更について

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止とそれによる夏季休業期間短縮のため、6月以降に予定していた研修会とイベントの一部を中止または延期としました。実施する研修会については、参加者の人数を削減し、3密(密閉、密集、密接)を避けた環境で行います。

### ◆中止とする研修会

- ①第1回 ICT 教育研修会 (6月実施予定)
- ②第1回 幼・保・小接続研修会 (6月実施予定)
- ③幼・保・小連携教育合同講演会 (7月29日実施予定)
- ④ふるさと教育研修会 (8月上旬実施予定)
- ⑤学級づくり研修会【教育セミナー：菊池省三氏講演会】  
(8月5日実施予定)



### ◆延期とする研修会・イベント

- ①生徒指導研修会「不登校児童の理解と対応」 6月下旬→11月に延期
- ②「ENGLISH セミナー」7月28日予定→12月25日(金) 午後に延期

## 若手研修会について

若手教員の指導力向上を目指し、児童生徒理解や指導方法等について学び合う機会とします。今年度は実施回数を削減し、参加者の希望に基づいた内容で行います。

研修会名・内容・講師等			実施日等	対象者・備考
1	<b>テーマ</b> 学級づくり <b>講師</b> 富山国際大学 教授 瀬戸 健 氏 <b>内容</b> 「学級づくり」		7月下旬 17:30～19:00 教文3階第一会議室	・小学校教諭 ・中学校教諭
2	<b>テーマ</b> 先輩に学ぶ <b>講師</b> 市内小・中学校教諭 <b>内容</b> 実践に基づく意見交換		12月25日(金) 教文4階研修室 教文3階第一会議室	・小学校教諭 ・中学校教諭

## ALT からのメッセージ

出身州(ニューヨーク州)での新型コロナウイルス感染拡大により、急遽帰国せざるを得なくなったキーラン先生のメッセージです。

I have been an ALT here in Himi for almost 2 years. I spent my time here in Himi teaching at Hokubu Junior High School and Kamisho Elementary School, and I feel so lucky to have met so many amazing students and teachers at both schools!

Although I am going back to America soon, I wish I could stay in Himi longer! I have so many amazing memories of seeing each of my students every day and learning so much about languages and cultures from each other. I hope that all of my students know how much fun it was to spend time with each of them, I will treasure all of the conversations, good times, and relationships we had for the rest of my life. I learned so much from all of the people I met here in Himi, and I hope I was able to give back in my time here.

Even though I'll be back in America soon, I hope all of my students keep doing their best – you all work so hard and you will always have someone supporting you from New York! I hope we can stay in touch! To everyone who has helped make these two years in Himi so wonderful: Thank you so much.

